



# 京都ビルメン ニュース

## 国民文化祭で伝えよう、 京都のこころ

京都府知事 山田 啓二



府民の皆様、あけましておめでとうございます。

昨年しねんの春、多くの府民の皆様からご信託を賜り、府政のかじ取りを引き続き担わせていただくこととなりました。皆様からいただいた期待を胸に、全力を尽くして京都府政を推進してまいりますので、よろしくお願いいたします。

振り返りますと、昨年しねんは、国内外で大きな事件が起きる中、急速に進んだ円高などにより、厳しい経済・雇用情勢が続き、決して明るい年ではありませんでした。しかも、これから私たちは、経験したことの無い高齢社会や、中国の急速な発展などの国際化に直面していただくに、多くの皆様が日本はどうなるのだろうという、将来に対して漠然とした不安を覚えているのではないかと思います。

しかし、こうした時代だからこそ京都の価値が輝きます。京都府には素晴らしい人の力があります。伝統と文化の蓄積があります。力を合わせて難局に向かう「こころ」があります。どの地域にも負けないものを私たちは持っています。それだけに

京都府の役割も重要です。時代や社会情勢の激しい変化に的確に対応し、京都の主役である府民の皆様がその力を十分に発揮できるよう、私たちは必要な環境を整えなくてはなりません。そのために、府政運営の基本となる条例や計画からなる「明日の京都」を昨年末に策定いたしました。ぜひ一度目を通してください。「明日の京都」を踏まえ「だれもがしあわせを実感できる希望の京都」の姿を府民の皆様と共有し、新しい時代に向かってともに歩んでいきたいと思っております。

そして「明日の京都」のスタートに当たる本年は、京都の力の源泉である「ほんまもんの文化」をさらに高めるため「京都文化年」とし、10月の「第26回国民文化祭・京都2011」をメインにさまざまな催しを企画いたしました。「国民文化祭」……聞き慣れない言葉かもしれませんが、京都に全国から文化を愛する人たちが集まり、各地で交流しながら、日頃の成果や実力を披露する国内最大の文化祭典であり、音楽、舞踊、演劇、美術、文芸などの芸術から伝統文化や生活文化など本当に多くの催

しが、期間中、府内各地で次々と繰り上げられます。

京都の国民文化祭のテーマは「こころを整える～文化発心ほっしん」です。私たちはこの殺伐とした時代に、何よりも、こころを大切にする京都の文化が次の世代を担う若者に受け継がれていくことを願っています。そのためにも、まず大人が国民文化祭に関心を持って参加していただくことを心から願っています。

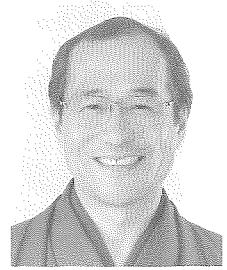
ぜひ新しい年を京都が、文化という先人たちによって培われてきた私たちの未来を示す「灯りあかり」によって、さらに輝ける年にしていきましょう。京都から全国へ、そして世界へ「京都のこころ」を発信し、希望の持てる「明日の京都」へとつなげていきましょう。

この一年の、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

「第26回国民文化祭・京都2011」  
PJ隊長まゆまる



# 「はばたけ未来へ!京プラン」 スタートの年



京都市長 門川 大作

新年おめでとうございます。皆様の御多幸を心からお祈り致します。

「政治と経済の“規模”以外は日本一の都市を目指そう」。そうした京都のビジョンを掲げ、実現すべく、「現地・現場主義」に徹して市民生活の現場や市政の最前線など2,300箇所を駆け回り、市長就任3年を迎えます。環境問題、財政問題など深刻な課題が多い中、京都の知恵と力を結集すれば、これからのまちづくりのモデルを全国、世界に示し得る。京都から新たな地域主権時代を切り拓ける。そんな“自信”が更に“確信”に高まってきています。

昨今、テレビや映画で「3D」が注目されています。この「3D」はなぜ立体的に見えるのか。それは右と左、二つの視点をずらして映像を

見せることにより、画面が立体的に見えるとのこと。今、政治、経済、情報などあらゆるものが首都圏に集中しています。しかし、「3D」のように異なる二つの視点を持たなければ、我が国の進むべき未来はリアルに見えてこないし、日本の真の姿を世界に正しく発信できない。そして今、日本の未来、真の姿を浮かび上がらせられる、独自の視点を示せる都市があるとすれば、それは京都である。そう確信しています。

危機的な本市の財政状況の下、多くの御支援をいただき、市民の皆様とのお約束の8割以上を実現した私のマニフェスト。本年はその総仕上げの年です。また、新たな10年に向け、新京都市基本計画「はばたけ

未来へ!京プラン」に着手する大切な年です。そして本年は兎年。得意分野で強みを発揮することを「兎の登り坂」といいますが、歴史都市、環境先進都市、ものづくり都市、大学・学生のまちなど、あらゆる“京都の強み”を発揮して、市民生活をしっかりと守り抜き、京都から日本を元気にする、京都の未来を切り拓く決意を新たにしています。

引き続き市民の皆様と共に汗しながら、「日本に京都があってよかった」「京都に住んでよかった」「京都で子育てしてよかった」と実感いただけるまちづくりに全力投球して参ります。

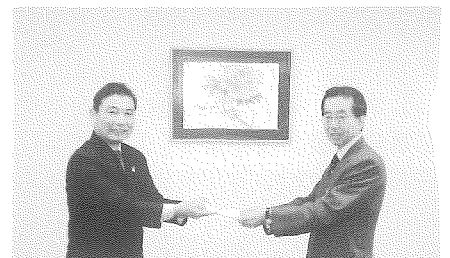
本年もよろしくお願い致します。

本年もよろしくお願い致します。

## 京都府への寄附

当協会主催のKBMAチャリティゴルフコンペ(2年分)にて集まったお金(30万円)を、社会奉仕活動に少しでも役立てて頂けたらと京都府へ寄附致しましたのでご報告させていただきます。

今後も引き続きチャリティを予定しておりますので、多数のご参加をお待ちしております。



京都府 健康福祉部 浅田良純部長(右)と当協会 植西雅史会長(左)

## 社団法人京都ビルメンテナンス協会長表彰

### 1/7 京都全日空ホテル

社団法人全国ビルメンテナンス協会主催の第4回こども絵画コンクールが昨年開催され、全国47都道府県より9,579作品の応募があり、その中から京都府内の3名が銀賞、全協会長賞、ペンテル特別賞を受賞されたこと並びに、第32回全国障害

者技能競技大会において初出場で銅賞に輝いた井上君の計4名を称え、京都協会植西会長より表彰並びに記念品の授与式を、1月7日京都全日空ホテル平安の間にて開催した新年賀詞交歓会の冒頭に執り行った。

(総務厚生委員会)



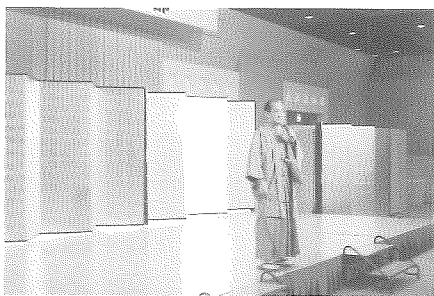
# ビルメン青年部全国大会2010 in 京都

10/13・14 ホテルグランビア京都

2010年10月20日、21日に全国より約170名の青年部メンバーが一同に会して、ビルメン青年部全国大会2010 in 京都が京都市内の京都グランビアホテルにて開催されました。

当協会の青年部を代表して渡守部会長が挨拶で、我々若いメンバーが業界に先駆けて、地域社会に対する貢献活動や広い視野をもって活動していかなければならないと呼びかけました。

記念式典では、京都府・京都市をはじめ全国ビルメンテナン協会を代表して梶山地区本部長や全協執行

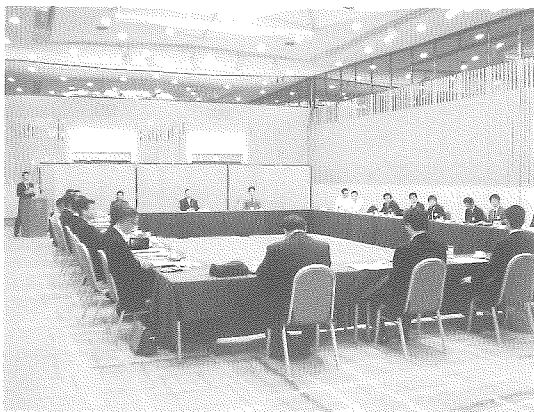


部の矢口広報委員長（京都協会名誉会長）も来賓として駆け付け、青年部の今後の活動に期待すると祝辞を頂いた。

式典に続き、記念フォーラムでは渡守部会長をコーディネーターとして各エリアを代表して8名のパネリストと京都協会青年部が提言する3つのテーマに基づくパネルディスカッションを実施した。さらに、パネルディスカッションの意見を基に参加者全員参加でのワークショップを行った。

そして、交流会では京都市長にご臨席を頂き、市長自らも推進する「便きょう会」の紹介していただき活発な交流が行われました。そして、次回開催地の鳥取協会青年部の照下部会長より2011年度の鳥取大会に向けて力強いPRを行って頂きました。

翌21日には、エクスカーションとして京都の史跡を巡り京都のしまつ



の心を感じてもらおう企画を開催し約80名の参加を頂き、無事に全日程を終了することができました。

京都協会会員様に多大なご協力を頂きましたことに、青年部一同感謝申し上げます。ありがとうございます。



京都学生祭典踊り普及部の皆さん

## 平成22年度研修旅行 と 第10回KBMAチャリティーゴルフコンペ

平成22年10月13日(水)・14(木)、一泊二日の予定にて恒例の研修旅行及び、チャリティーゴルフコンペに37名のご参加をいただきました。

初日は、世界に3箇所しかなく、日本が世界に誇れる放射光実験施設「SPring-8」の見学をさせていただき、皆まったく知識がありませんが、それでも、わくわくしながら、案内の方のお話を聞いていました。

「SPring-8」とは、「放射光」と呼ばれる非常に明るい光を使って、原子レベルの微細な構造や働きを観察することができる、言わばスーパー顕微鏡で、バイオテクノロジー・新薬開発・化粧品・考古学研究・地



球惑星科学等、あらゆる分野に貢献をしており、中でも、宇宙探査船「はやぶさ」が小惑星イトカワから持ち帰った粒子の分析を、11月頃から始めるということで、全世界が注目する施設を一足先に見学できたことは本当に幸運でした。

これからも、宇宙の夢も見させてくれるだろう施設に、万感の思いを後にし、旅館へと向かいました。

翌日、ゴルフに参加する方々は、朝早くから晴天の中、第10回を迎えたチャリティーコンペをすがすがしくスタート。また、観光に参加の方々は、中国庭園／燕趙園の広くて美しい庭園を散策、中国雑技公演の演技を鑑賞し、団員の体の柔らかさにびっくり、大きな拍手をおくりました。その後、JA・東郷梨選果場、そして、白壁土蔵のまち「倉吉」を訪ね、町



の人たちとふれ合いながら、散策を楽しみました。

午後3時、予定より少し遅れてゴルフ参加者と合流、一路、京都へと帰路につきました。車中では、観光のお土産ばなしで賑わい、またゴルフコンペの結果発表が行われ、山元総務厚生委員長より「皆様のご協力により、チャリティー基金として今回74,500円が集まりました」とのお礼報告がありました。研修会及びチャリティーコンペと観光を兼ねた有意義な旅行となりましたことをご報告させていただきます。(総務厚生委員会)



## 会員の変更事項

(H22.10~H23.2月)

### 正会員退会

- (有)ホープ商会 <平成22年10月末日退会>

### 変更事項

- 双葉メンテナンス工業(株)  
代表者変更 山下耕平 <平成23年2月1日変更>

### 表彰事項

平成22年度

#### 「厚生労働大臣表彰」

副会長 眞下 登氏  
(日本環境サービス(株))



平成22年度

#### 「ビル管理教育センター 会長表彰」

教育事業委員会 指導講師  
加賀城 洋子氏  
(関西明装(株))



## コラム

### 第十四話 「お寺のはじまり」

お寺の歴史がはじまったのは、日本に仏教が伝わって間もない飛鳥時代のこと。神社にご神体が置かれているのと同じように、仏像を置く場所としてできたのがお寺でした。

その後、僧侶(お坊さん)が修行をしたりお経を読むための場所となり、現在のお寺のかたちができあがりました。

#### 「お寺はなにをすところ」

##### ①仏像をまつ場所

お寺には「仏像を置く場所」という役割があります。仏様を拝む「仏教」の考え方が日本にやってきたとき、仏さまの代わりである仏像をまつるためにお寺を立てるようになったのです。

##### ②僧侶が修行をする場所

平安時代に、日本のお寺は「焦慮が修行をする場所」として広まりました。修行のためのお寺は山の上に建っていることが多いですがそれは、日本にはもともと自然の山を神聖なところと考える習慣があり、山が僧侶の修行の場所にふさわしかったからです。

##### ③お葬式・お墓参り

平安時代の終わりから鎌倉時代にかけて、お寺は「僧侶がお仏様の教えを信者に聞かせる場所」という役割をもつようになりました。さらに、江戸時代になると、仏教とお葬式とが結びついて、お寺はお葬式やお墓参りに関係が深い場所となったのです。

## KBMA INFORMATION

### 最近3カ月の終わった

(H22.11月~23.1月)

### 主な行事

### これからの予定

(H23.2月~3月)

#### ■総務厚生委員会■

- 10月13日~14日 研修旅行 (Spring-8 見学他)
- 11月16日 委員会開催
- 12月7日 委員会開催
- 平成23年
- 1月7日 新年賀詞交歓会 京都全日空ホテル
- 1月25日 委員会開催
- 2月10日 委員会開催
- 予定
- 3月 委員会開催
- 3月16日 総会開催

#### ■広報委員会■

- 11月 KBMA vol.51号(秋号)発行
- 11月25日 委員会開催
- 12月7日 委員会開催
- 2月 KBMA vol.52号(冬号)発行予定
- 予定
- 3月 委員会開催
- 4月 KBMA vol.53号(春号)発行予定

#### ■経営開発委員会■

- 11月26日 委員会開催
- 12月2日 委員会開催
- 予定
- 2月25日 委員会開催
- 2月25日 第2回経営開発セミナー開催 (京都府中小企業会館 8F・806会議室)

#### ■安全衛生委員会■

- 12月2日 委員会開催
- 予定
- 3月 委員会開催

#### ■教育事業委員会■

- ビルクリーニング基礎講座・中級
- 11月11日 (第104回)
- 12月9日 (第105回)
- 1月13日 (第106回)
- 1月17日 (第107回)
- 1月21日 (第108回)
- 開催場所上記何れも、京都府中小企業会館801会議室

- 1月26日 貯水槽清掃作業従事者研修 中小企業会館大ホールにて開催
- 2月1日 清掃作業従事者研修指導者講習 京都府中小企業会館 802会議室にて開催
- 予定
- 3月 委員会開催

#### ■公益事業推進委員会■

- 1月26日 アビリンピック練習会開催
- 2月3日 アビリンピック練習会開催
- 2月5日 アビリンピック京都大会
- 予定
- 3月 委員会開催

#### ■青年部会■

- 10月20日・21日 青年部全国大会in京都 (ホテルグランヴィア京都)
- 1月7日 部会開催
- 予定
- 3月3日 部会開催

KBMAニュース第52号(2011年冬号)  
編集人/広報委員会 発行人/植西雅史  
発行所/社団法人京都ビルメンテナンス協会  
〒615-0042 京都市右京区西院東中水町17 京都府中小企業会館6F  
TEL075-314-8021 FAX075-314-3860  
ホームページhttp://www16.ocn.ne.jp/~k-bma/  
印刷所/洛西プリント社

#### ビルメンメンテナンスのプロ集団に仲間入りしませんか?

私たちは多くの企業様の加入をお待ちしています。

詳しくはホームページ「(社)京都ビルメンテナンス協会検索」をごらん頂くか、協会事務局までご遠慮なくお問い合わせください。